

第19回科学技術部会	参 考
平成16年4月14日	資 料 2 - 2

総合科学技術会議提出資料等

感染症対策の現状と課題

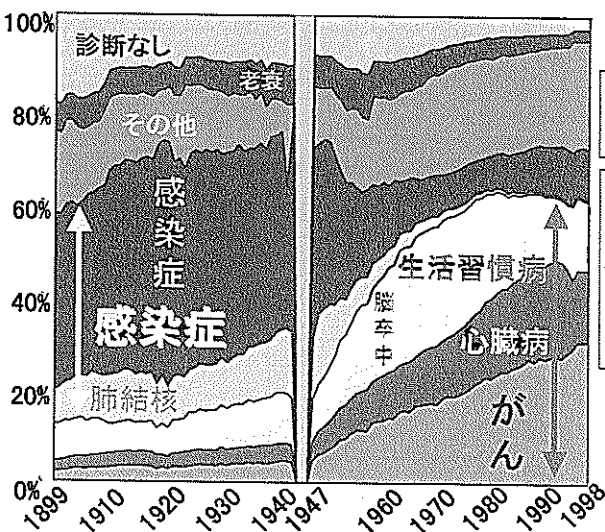
平成16年1月29日

厚生労働省

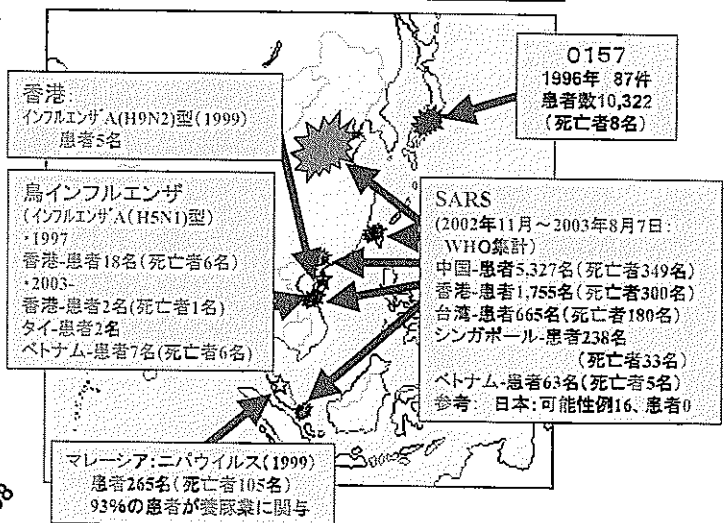
病気の変遷と感染症の新たな課題

多くの感染症を征圧 → みんなが知っているが忘れている状態

我が国における20世紀の疫学的変遷



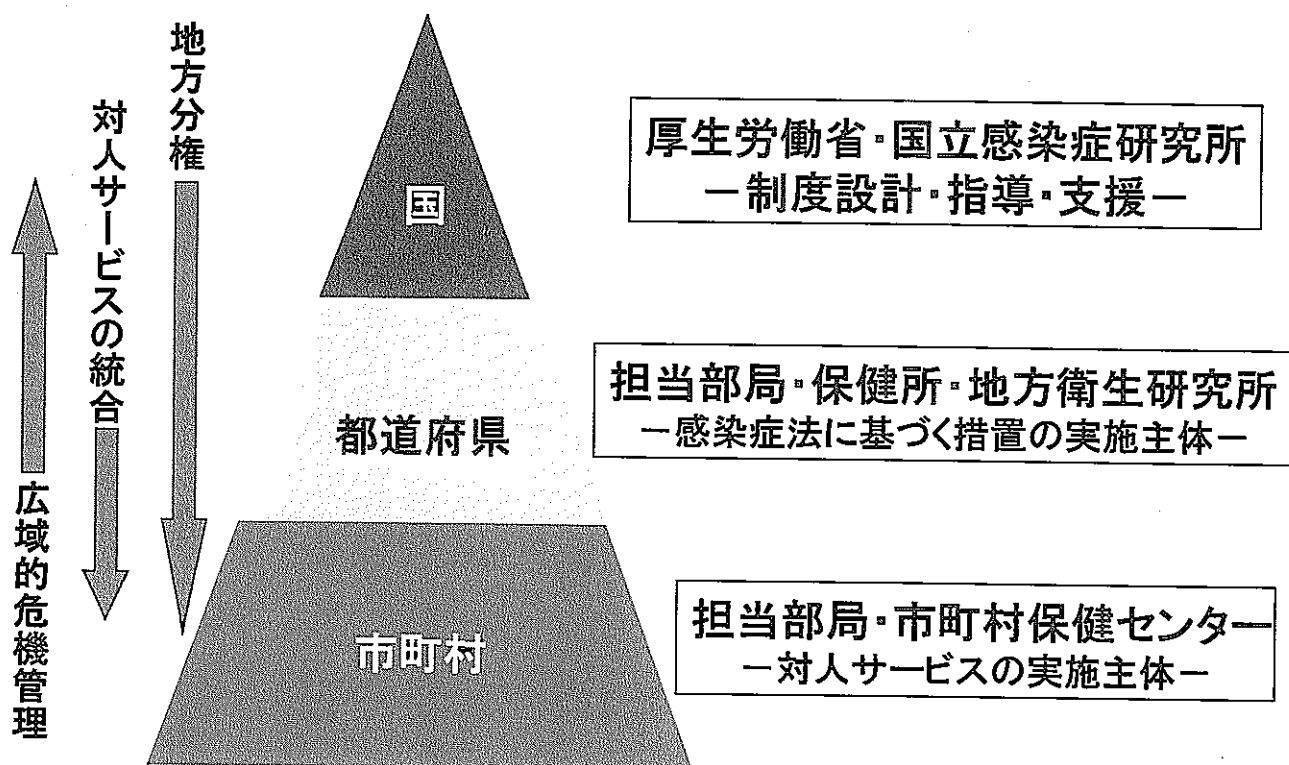
アジアの新興感染症(1996-2004)



21世紀の感染症対策

- 危機管理としての感染症対策を充実
- それを支える研究体制の強化
- 国際協力の推進

感染症に立ち向かうシステム

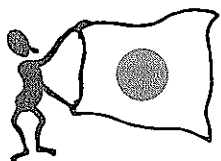


2

鳥インフルエンザについて

— 今できること、これから行うこと —

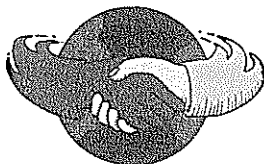
1. 国内における対策の充実



- ・ 感染症法に基づくサーベイランスの充実
- ・ 新型インフルエンザ発生に備えた体制整備 等

2. WHOとも連携した途上国への技術支援

3. 国際的視野をもった研究の推進



- ・ インフルエンザパンデミック(大流行)に対する危機管理体制と国際対応に関する研究
 - ・ 早期診断キットの開発に向けた研究
 - ・ ワクチンの開発に向けた研究
- 等

③

今後の科学技術の重点分野

～重点的に取り組むべき技術的課題について～

平成16年2月26日

厚生労働省

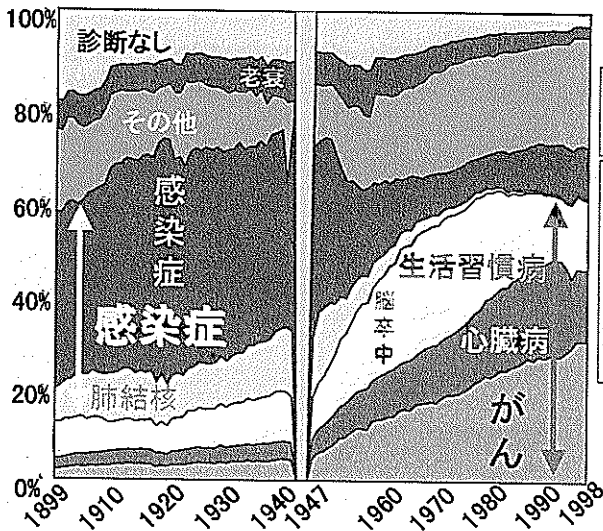
厚生労働科学研究において 考えられる重点分野

- 危機管理としての感染症研究の充実
(例)SARS、鳥インフルエンザ研究等の強化
- 健康分野における先端科学技術の実用化
(例)ゲノム研究成果の予防・治療への活用
→ 疾病対策の強化
医薬品・医療機器産業の競争力の強化
……………など

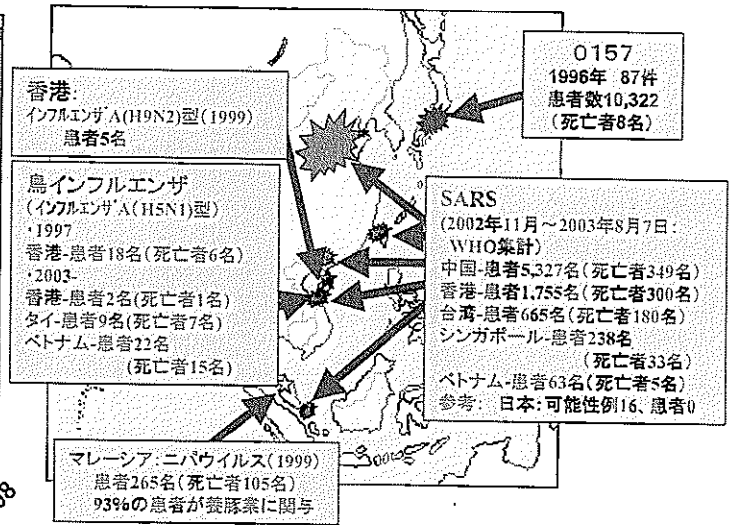
病気の变迁と感染症の新たな課題

多くの感染症を征圧 → みんなが知っているが忘れていている状態

我が国における20世紀の疫学的変遷



アジアの新興感染症(1996-2004)



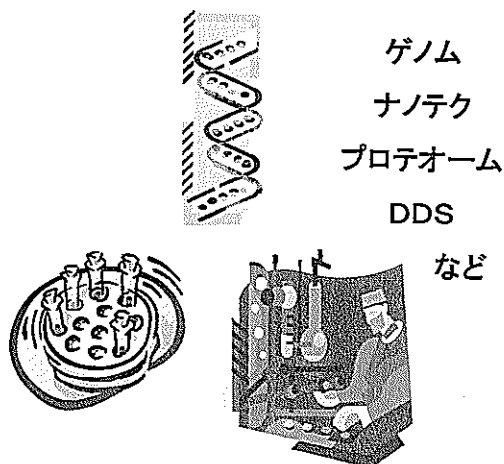
21世紀の感染症対策

- 危機管理としての感染症対策を充実
- それを支える研究体制の強化
- 国際協力の推進

先端科学技術の成果を疾病対策、健康分野へ

～ScienceからPracticeへ～

先端科学技術の成果

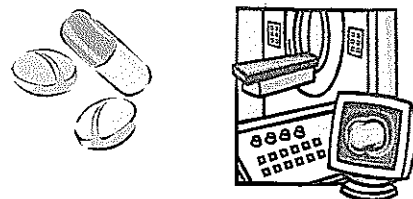


ゲノム
ナノテク
プロテオーム
DDS
など

予防・診断・治療・創薬へ



疾病予防の向上
早期診断
治療法の最適化
副作用の防止
新治療法
など



課題: 国民の健康水準の向上、疾病対策、創薬のための先端科学技術の実用化に向けた研究体制の強化

例) ゲノム科学による、疾病予防の向上、早期診断、最適な治療法の選択、副作用の防止、新治療法、創薬シーズ 等